

【悪魔】 教員採用試験で合格者の判定が不正に行われた疑いがあるとして、大騒ぎになっていくようです。点数の改ざんから贈収賄までいろいろなのが報道されていますが、どのようにお感じになりますか？

【天使】 あまりのことに物も言えない、ということで、ほぼすべてが言い尽くされる。第一に、公正かつ厳正であるべき筆記試験の点数を、特定の者の指示によって改ざんしたうえ、その結果合格点に達していた者を不合格としたわけだから、そもそも教員として必要な能力を有していない者が採用され、能力のあった者が不合格となると、試験制度にとって絶対に生じてはならないことが行われていたということができる。

また、採用や昇進に際して物の贈答が行われ、合否判定結果に影響を与えていたのだとすれば、重大な犯罪行為であることは明らかだ。しかも、報道を見る限り相当多数の者が何らかの形で関与していた可能性も否定できないようだから、今回の事件は教職や教育制度全体に対する深刻な不信感を植え付けてしまったという点で、重

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第20話

教員採用と筆記試験

い非難を免れないと言えるだろう。

【悪魔】 確かに、合格した人がみんな疑われていることは、何ともお気の毒ではありますね。でも、そもそもの話として、どうして筆記試験の結果を合否判定に際して覆すことが問題なのですか？

今回は点数を改ざんしているから不正だとされていますけど、全員に面接試験をして「総合判定」という形で合格者を決めていけば、全然問題なかったわけですよ。筆記試験の結果を別の理由で一気に覆すことが面接試験の実質的な機能であるわけですから。

【天使】 とんでもないことを言うな。教員が生徒に対して適切な教育を施すためには、関連する事項について熟知したうえで、生徒の人格や能力の発達に応じた細かな配慮が必要とされる。従って、教員の職務は、単に聞かれれば答えられるという程度の知識にとどまらない能力を有していることが必要であり、そのためにも筆記試験で教養及び専門的な能力を判断することは、教員採用に関して必須のことと考えられ

ているのだ。

【悪魔】 それは、教員の持っている知識が、子どもたちにとって一番大きな情報源だった時代の考え方でしょう？ 今の世の中では、子どもたちは学校に入る前からあらゆる情報の波の中を泳ぎ回っているわけで、改めて学校で教員がもつともらしく何かを教えようとしても、それは「権威のある情報」という以外のものではないんじゃないやありませんか？ まあ、その意味では、教員採用に汚職があったとしたら、教員の権威が失墜して、学校で教えることの意義が完全に失われるわけですから、教育関係者にとって一大事であることはよくわかりますけどね。

【天使】 相変わらず教育に対する基本的な姿勢が理解できていないようだな。生徒の側に十分な知識と判断能力が最初からあるのなら、そもそも学校教育を社会の中で存在させる必要はないはずで、必要かつ有益な情報を適切に取捨選択することができるようになるために、本来あるべき姿は何かということ、学校において学ぶことが逆に必要となってくるのだ。従って、



教員が生徒に教授する知識は、単なる権威という側面を超えた正統性を社会的に持っているわけであり、そのためにも教員として優秀な人材を確保することが、採用試験の重要な目的となっているといえることができる。

【悪魔】 だから学校からの情報以外はできるだけ子どもたちの目に触れないようにしましょう、というのが最近の情報規制の傾向のようですけど、私ははつきり言って反対ですね。世の中は残念ながらそれほどきれいなものじゃありませんから、大人へと育つ過程では、どんなものだって少しずつ経験していく必要があります。学校は、昔は正しいことを教えるところだったのかもしれないですが、今は世の中で起こっていることをある程度薄めた形で子どもたちに経験させるというところが変わっていくべきです。そのためにはあんまり偉い人ばかりが教員になることは、世間とずれていくという点で逆に問題になるはずですから、今回のような事件が大きいく世間に知れ渡ること、教員に対する冷静な目を子どもたちに教えるためには、かえって良い機会なんじゃないやありませんかねえ。